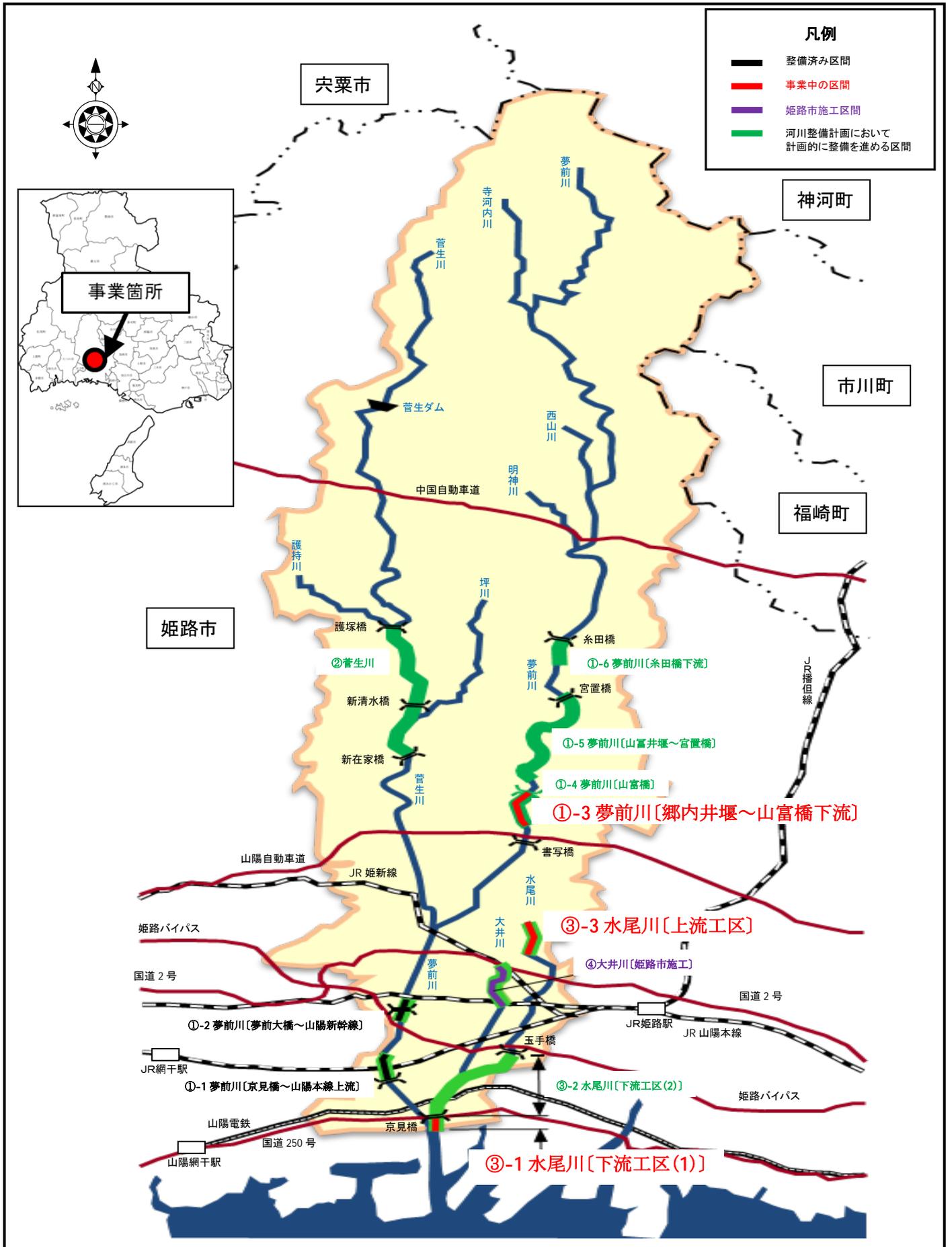


令和6年度 投資事業評価調書（継続：再評価〔第6回〕）

部課室名	土木部 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 福永 悦男 (河川・武庫川整備班主幹 寺田 悟)	内線	4408 (4437)
事業種目	河川事業	水系名	夢前川水系		
事業目的					
夢前川水系において、平成26(2014)年10月に策定した河川整備計画に基づき、洪水対策を実施することにより、治水安全度を向上させ地域住民の安心・安全を確保する。					
夢前川水系夢前川河川整備計画における「計画的に整備を進める区間」					
本川					
	区間	延長	整備目標	事業の状況	前回評価年度
	①-1 夢前川 [京見橋～山陽本線上流]	0.3km	戦後最大の昭和51年9月洪水と同規模の洪水を流下	H30(2018) 完了	事業評価 対象外
	①-2 夢前川 [夢前大橋～山陽新幹線]	0.8km		R1(2019) 完了	事業評価 対象外
	①-3 夢前川 [郷内井堰～山富橋下流]	1.1km		事業中	R1(2019) 新規評価 公共審査対象外
	①-4 夢前川 [山富橋]	1橋		未着手	—
	①-5 夢前川 [山富井堰～宮置橋]	2.5km		未着手	—
	①-6 夢前川 [糸田橋下流]	0.6km		未着手	—
支川					
	区間	延長	整備目標	事業の状況	前回評価年度
	② 菅生川 [新在家橋～護塚橋]	4.3km	戦後最大の昭和51年9月洪水と同規模の洪水を流下	未着手	—
	③-1 水尾川 [下流工区(1)] [夢前川合流点 ～国道250号]	0.3km	年超過確率 1/100 の規模の洪水を安全に流下	事業中	R1(2019) 再評価
	③-2 水尾川 [下流工区(2)] [国道250号 ～今在家東大橋]	1.9km	年超過確率 1/100 の規模の洪水を安全に流下	未着手	—
	③-3 水尾川 [上流工区] [辻井川合流点 ～法河川上流端]	1.3km	年超過確率 1/20 の規模の洪水を安全に流下	事業中	R3(2022) 新規評価
	④ 大井川 [山陽新幹線～国道2号]	1.2km	年超過確率 1/50 の規模の洪水を安全に流下	事業中 (姫路市施工)	事業評価対象外

夢前川水系夢前川 河川整備計画 全体位置図



【夢前川水系】

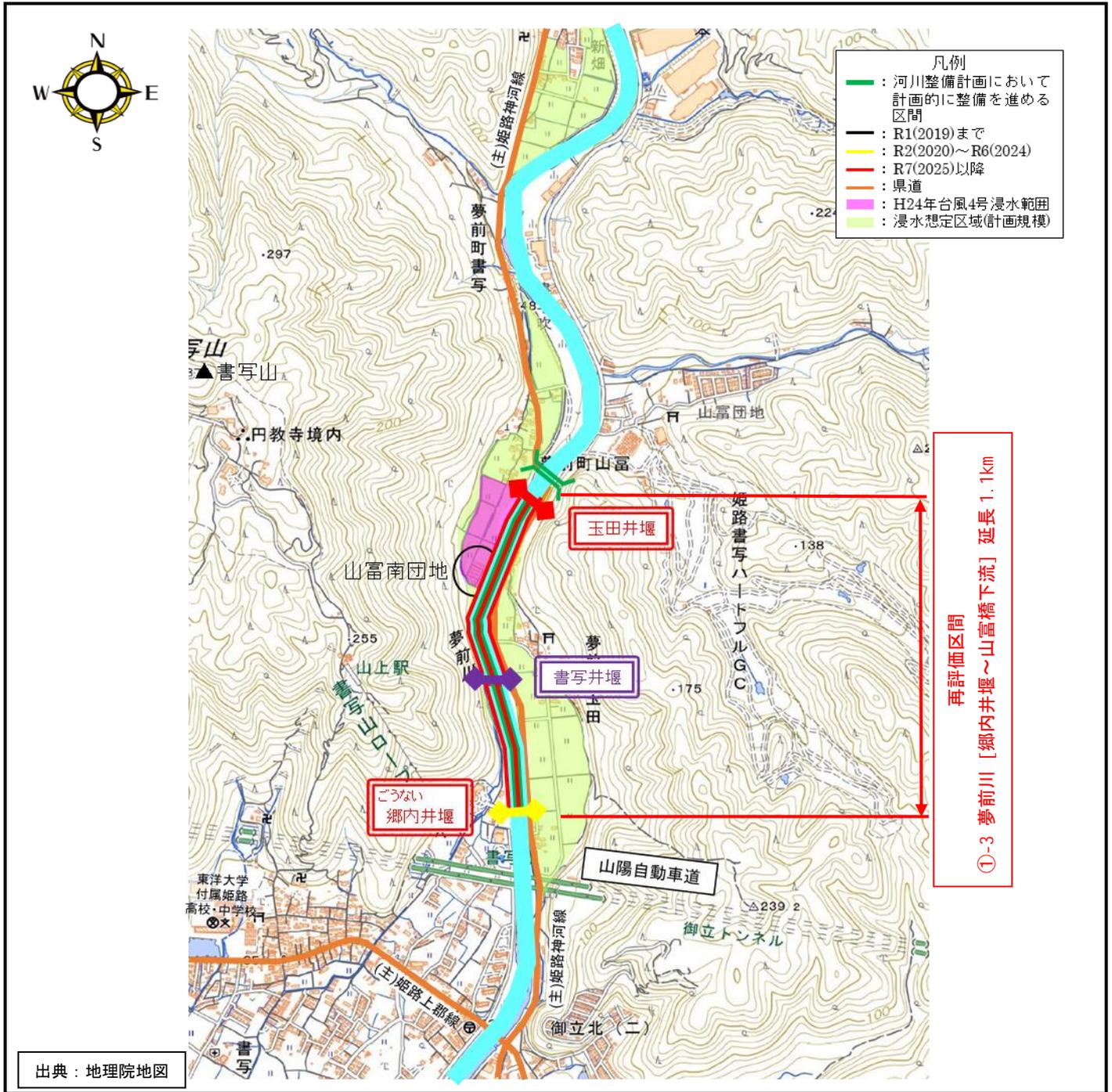
事業概要および進捗状況

			今回評価内容 () : 前回評価時点				
工区	事業区間	整備内容		全体事業費	進捗率	残事業費	完成 予定 年度
①-3 夢前川	郷内井堰～山富橋下流 (姫路市夢前町玉田～ 山富)	河道改修 1.1km 護岸、河床掘削 井堰改築 【負担割合】 国：50% 県：50%	事業費	22億円 (8.3億円)	36% (0%)	14億円 (8.3億円)	R12 (R8)
			内用補	0.1億円 (0.1億円)	100% (0%)	0.0億円 (0.1億円)	
③-1 水尾川 [下流工区(1)]	夢前川合流点～ 国道250号 (姫路市飾磨区英賀)	河道改修 0.3km 築堤、護岸 河床掘削 【負担割合】 国：50% 県：50%	事業費	26億円 (18億円)	69% (39%)	8億円 (11億円)	R10 (R7)
			内用補	3.1億円 (2億円)	100% (95%)	0億円 (0.1億円)	
③-3 水尾川 [上流工区]	辻井川合流点～ 法河川上流端 (姫路市田寺～北今宿)	延長 1.3km 地下捷水路整備 (1.4km(Φ4.75m)) 【負担割合】 国：50% 県：50%	事業費	110億円 (82億円)	1% (0%)	109億円 (82億円)	R15 (R9)
			内用補	1.5億円 (1.5億円)	0% (0%)	1.5億円 (1.5億円)	
事業を取り巻く 社会経済情勢等 の変化	気候変動の影響により、近年、豪雨災害が頻発化・激甚化していることから、河川改修に対する地元要望は強まっている。						
	【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 【夢前川】 (13.7億円増、4年延伸) ・ 労務・材料単価等の高騰に伴う増額 ・ 井堰改築方法の変更に伴う増額 ・ 現地調査の結果、護岸工の追加に伴う事業期間の延伸及び増額 【水尾川[下流工区(1)]】 (8億円増、3年延伸) ・ 労務・材料単価等の高騰に伴う増額 ・ 現場発生土を他工事流用から処分に変更したことに伴う増額 ・ 下水管移設の遅れに伴う事業期間の延伸 【水尾川[上流工区]】 (28億円増額、6年延伸) ・ 労務・材料単価等の高騰に伴う増額 ・ 本県類似工事を参考に仮設費等を見直し ・ 立坑位置の用地交渉難航及び検討に伴う事業期間の延伸 ・ 本県類似工事を参考に工事期間設定に伴う事業期間の延伸						
進捗状況	【夢前川】 ・ 令和3(2021)年度に郷内井堰改築に着手し、令和5(2023)年度に完了 【水尾川[下流工区(1)]】 ・ 平成29(2017)年度に築堤が完了 ・ 令和6(2024)年度までに護岸、河床掘削による泊地整備が完了予定 【水尾川[上流工区]】 ・ 詳細設計と用地交渉を並行し、立坑位置を検討中						

【夢前川水系】

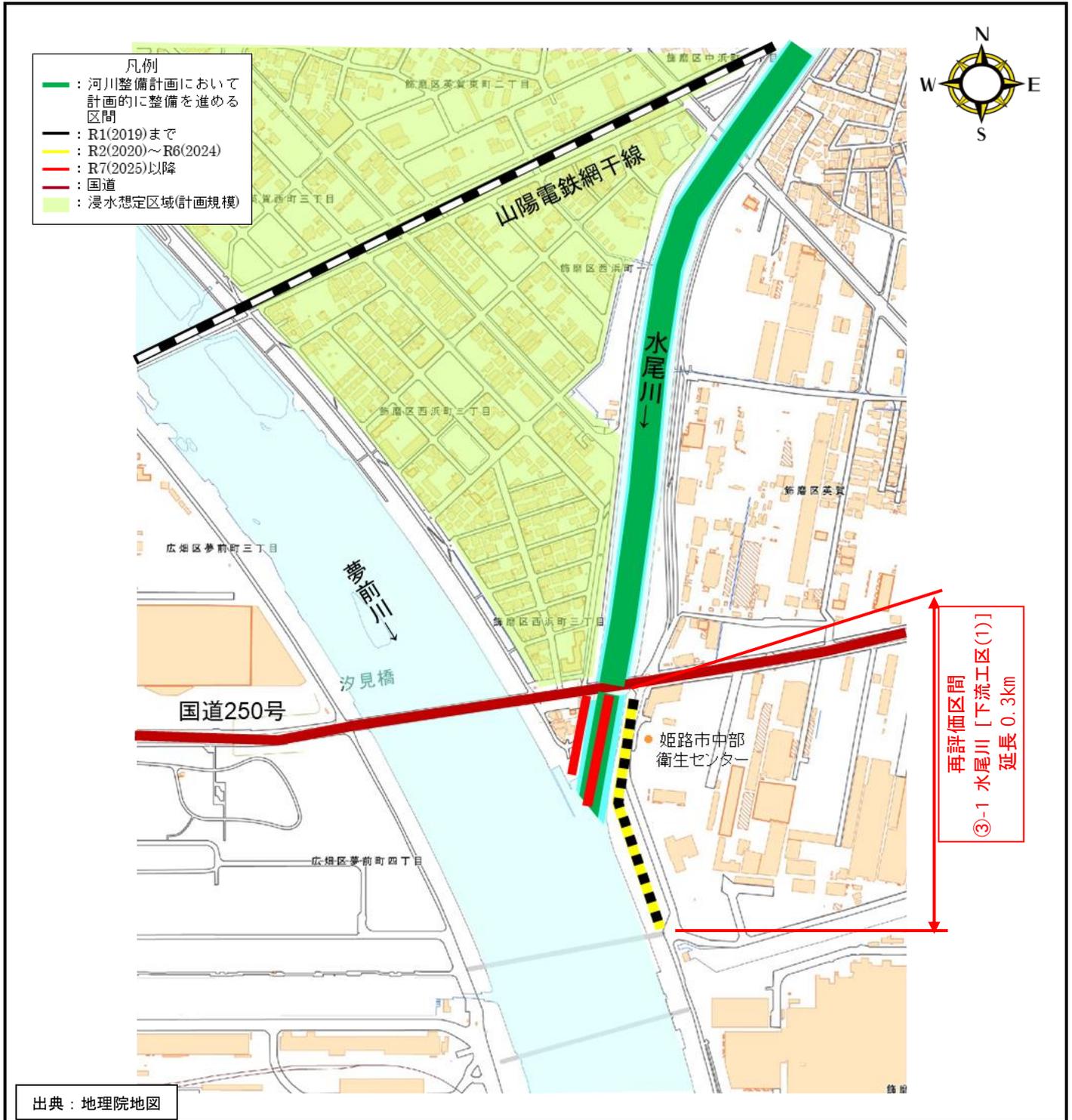
評価視点		評価結果の説明	
審査会意見及び対応方針 (R1年度再評価)	【審査会意見】 なし（継続妥当）	【対応方針】	—
(R3年度新規評価)	なし（着手妥当）		—
(1)必要性	<p>夢前川流域では、過去に発生した洪水により、甚大な浸水被害が発生している。また、気候変動の影響により、近年、豪雨災害が頻発化・激甚化していることから、河川改修に対する要望も強い。</p> <p>【主な浸水被害（流域全体）】</p> <p>昭和40年（1965）台風24号：[浸水面積1823ha、床上浸水1,232棟、床下浸水5,114棟] 昭和51年（1976）台風17号：[浸水面積720ha、床上浸水841棟、床下浸水5,734棟] 平成2年（1990）台風19号：[浸水面積121.1ha、床上浸水99棟、床下浸水2,355棟] 平成16年（2004）台風23号：[浸水面積66ha、床上浸水2棟、床下浸水34棟] 平成23年（2011）台風12号：[浸水面積2.7ha、床上浸水83棟、床下浸水205棟] 平成24年（2012）台風4号：[浸水面積2.9ha、床上浸水8棟、床下浸水102棟]</p>		
(2)有効性 ・効率性 (事業執行環境)	<p>① 費用便益比：B/C=5.5（※河川整備計画における全ての事業による費用便益比） ② 河川整備基本方針は平成25(2013)年8月、河川整備計画は平成26(2014)年10月に策定済。 ③ 地元から早期事業完了の要望がある。 ④ 水尾川上流工区は河川事業(県)と下水道事業(市)が共同で地下捷水路を整備することで、効率的に浸水被害を軽減できる。</p>		
(3)環境適合性	<p>・流域では、回遊魚としてアユやシマヨシノボリ、モクズガニ等が確認されており、井堰には魚道を設けるなど、生物の生活環境の保全に努める。 ・水尾川上流工区の捷水路は地下に設置するため、環境への負荷は小さい。</p>		
(4)優先性	<p>・事業区間には人家連担区域が含まれており、流下能力不足による大きな浸水被害が想定されることから、早期に整備する必要がある。</p>		
の再評価 結果	継続	左の理由	事業の必要性は事業採択時と変わっておらず、地域住民の安全安心な生活環境を確保するため、事業を継続する必要がある。

夢前川水系夢前川 [郷内井堰～山富橋下流] 整備概要図



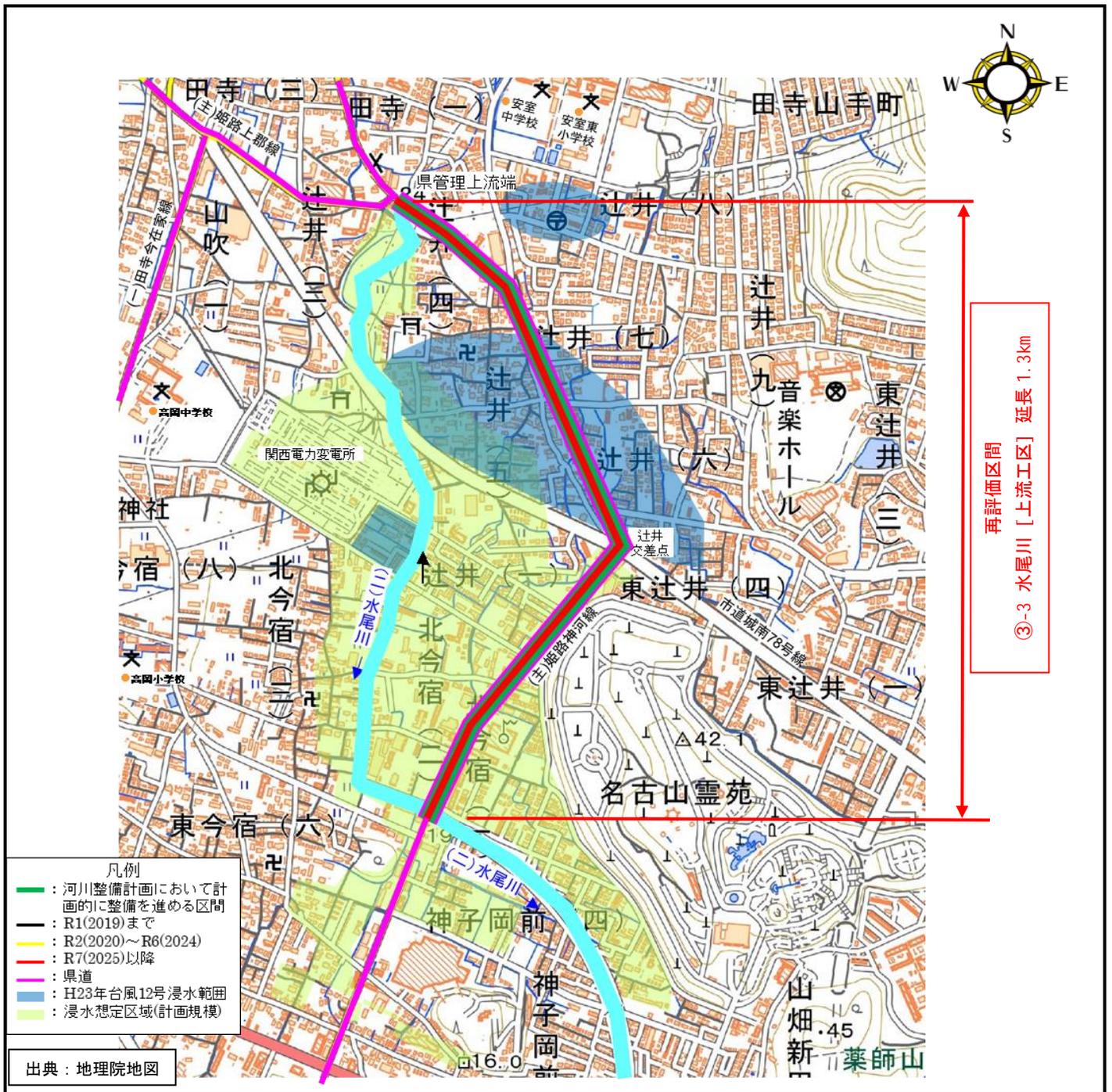
工区	河川整備計画全体	前回評価から R6(2024)まで	今後 5 年間 R7(2025)～ R11(2029)	今後 10 年間 R12(2030)～ R16(2034)
①-3 夢前川 [郷内井堰～ 山富橋下流]	R2(2014)～R12(2030) 【事業費＝22 億円】 ・整備延長：1.1km ・整備概要：井堰改築、 河床掘削、護岸	R2～R6 年度 【事業費＝8 億円】 ・測量、設計 ・護岸 ・井堰改築	R7～R11 年度 【事業費＝13 億円】 ・護岸 ・河床掘削 ・井堰改築	R12 年度 【事業費＝1 億円】 ・護岸 ・河床掘削 ・井堰改築
		流下能力の向上	流下能力の向上	流下能力の向上

夢前川水系水尾川 [下流工区(1)] 整備概要図



工区	河川整備計画全体	前回評価まで	前回評価から R6(2024)まで	今後5年間 R7(2025)～ R11(2029)
③-1 水尾川 下流工区(1)	H26(2014)～R10(2028) 【事業費=26億円】 ・整備延長：0.3km ・整備概要：築堤、護岸 河床掘削	H26～R1年度 【事業費=11億円】 ・測量、設計 ・築堤 ・護岸	R2～R6年度 【事業費=7億円】 ・護岸 ・泊地整備(護岸、河床掘削)	R7～R10年度 【事業費=8億円】 ・護岸 ・河床掘削
				流下能力の向上

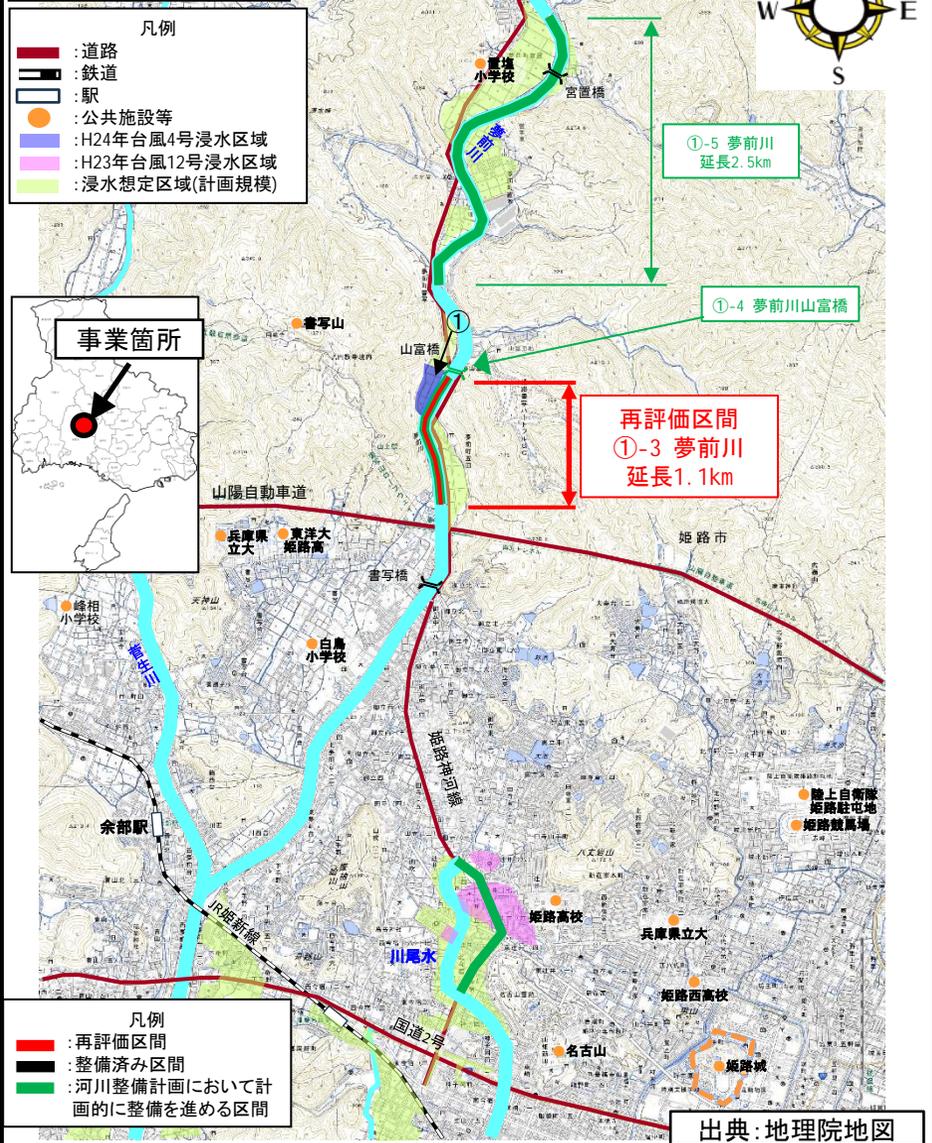
夢前川水系水尾川 [上流工区] 整備概要図



工区	河川整備計画全体	前回評価から R6(2024)まで	今後 5 年間 R7(2025)～ R11(2029)	今後 10 年間 R12(2030)～ R16(2034)
③-3 水尾川 [上流工区]	R3(2014)～R15(2033) 【事業費＝110 億円】 ・延長：1.3km ・整備概要：地下捷水路 1.4km(φ 4.75m)	R3～R6 年度 【事業費＝1 億円】 ・測量、設計	R7～R11 年度 【事業費＝44 億円】 ・設計、用地補償 ・地下捷水路 (立坑、シールド)	R12～R15 年度 【事業費＝65 億円】 ・地下捷水路 (立坑、シールド、機械設備 護岸工、周辺整備等)
				流下能力の向上

河川事業 二級河川夢前川水系夢前川（継続:再評価〔第6回〕）

位置図



目的

夢前川水系河川整備計画(H26.10)に基づき治水安全度を向上(戦後最大の昭和51年9月と同程度の洪水を流下させる。)

事業概要

事業区間: 郷内井堰～山富橋下流
 総事業費: 22億円
 内用地補償費: 0.1億円
 事業期間: 令和2(2020)年～令和12(2030)年
 事業概要: 井堰改築、河床掘削、護岸
 延長: 1,100 m
 費用便益比B/C: 5.5(河川整備計画における全ての事業による費用便益費)

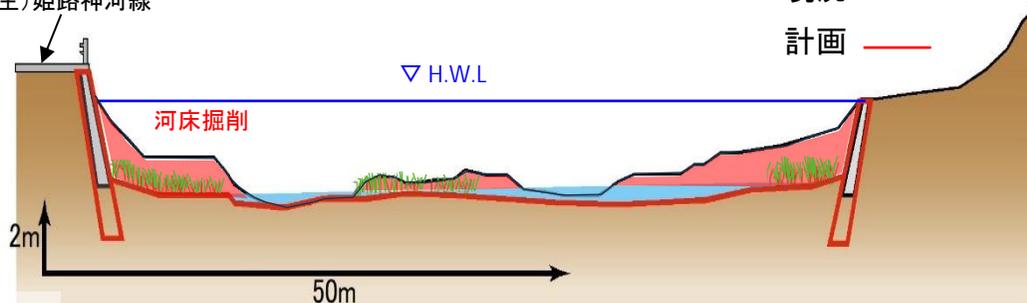
浸水実績

① 浸水実績
(H24台風4号)



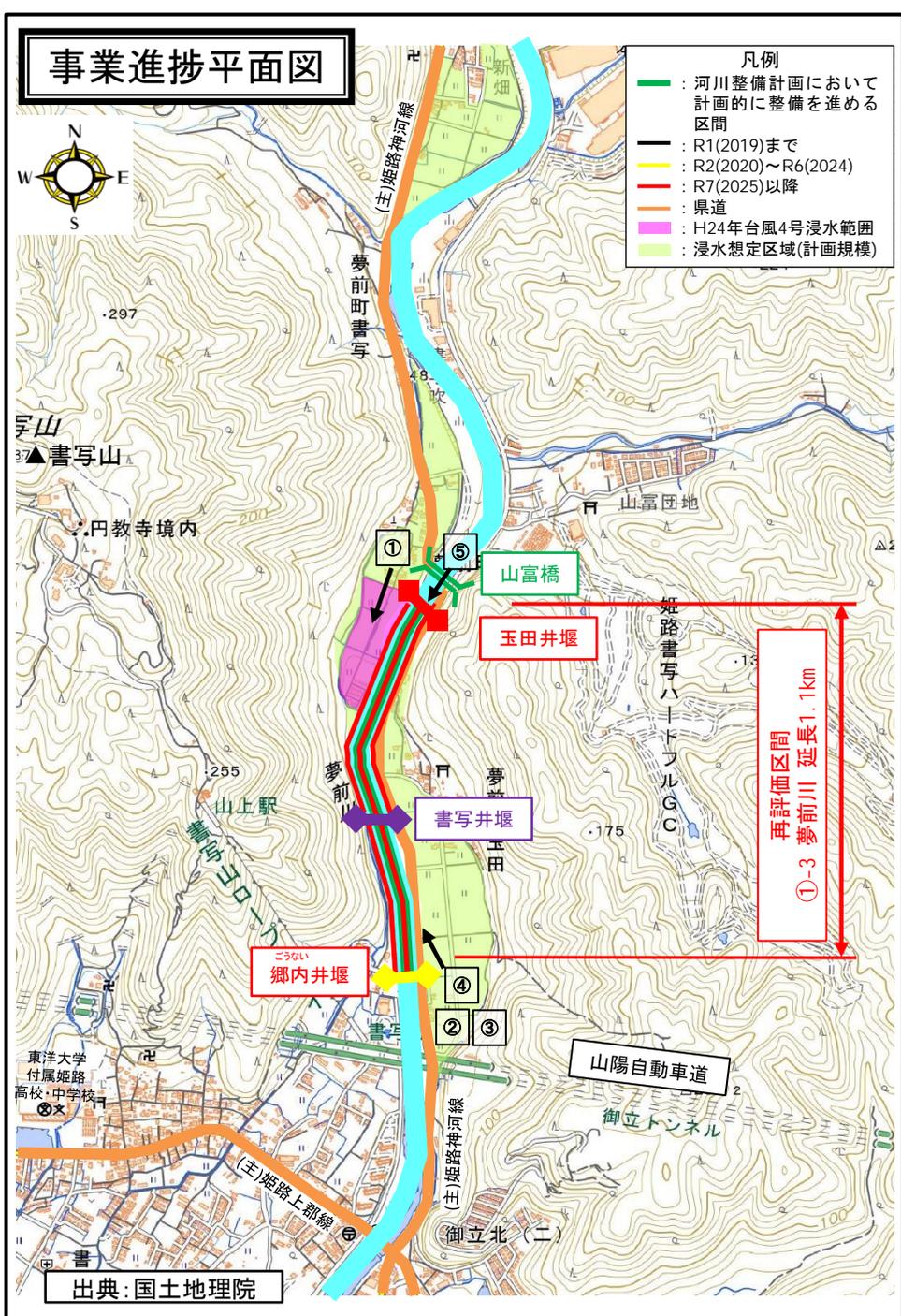
横断図

(主) 姫路神河線



事業進捗平面図

- 凡例
- 河川整備計画において計画的に整備を進める区間
 - R1(2019)まで
 - R2(2020)~R6(2024)
 - R7(2025)以降
 - 県道
 - H24年台風4号浸水範囲
 - 浸水想定区域(計画規模)



出典: 国土地理院

現況写真

② 郷内井堰 着手前



③ 郷内井堰 完成



④ 残事業 護岸・河床掘削(郷内井堰上流)



⑤ 残事業 護岸・河床掘削(山富橋下流)



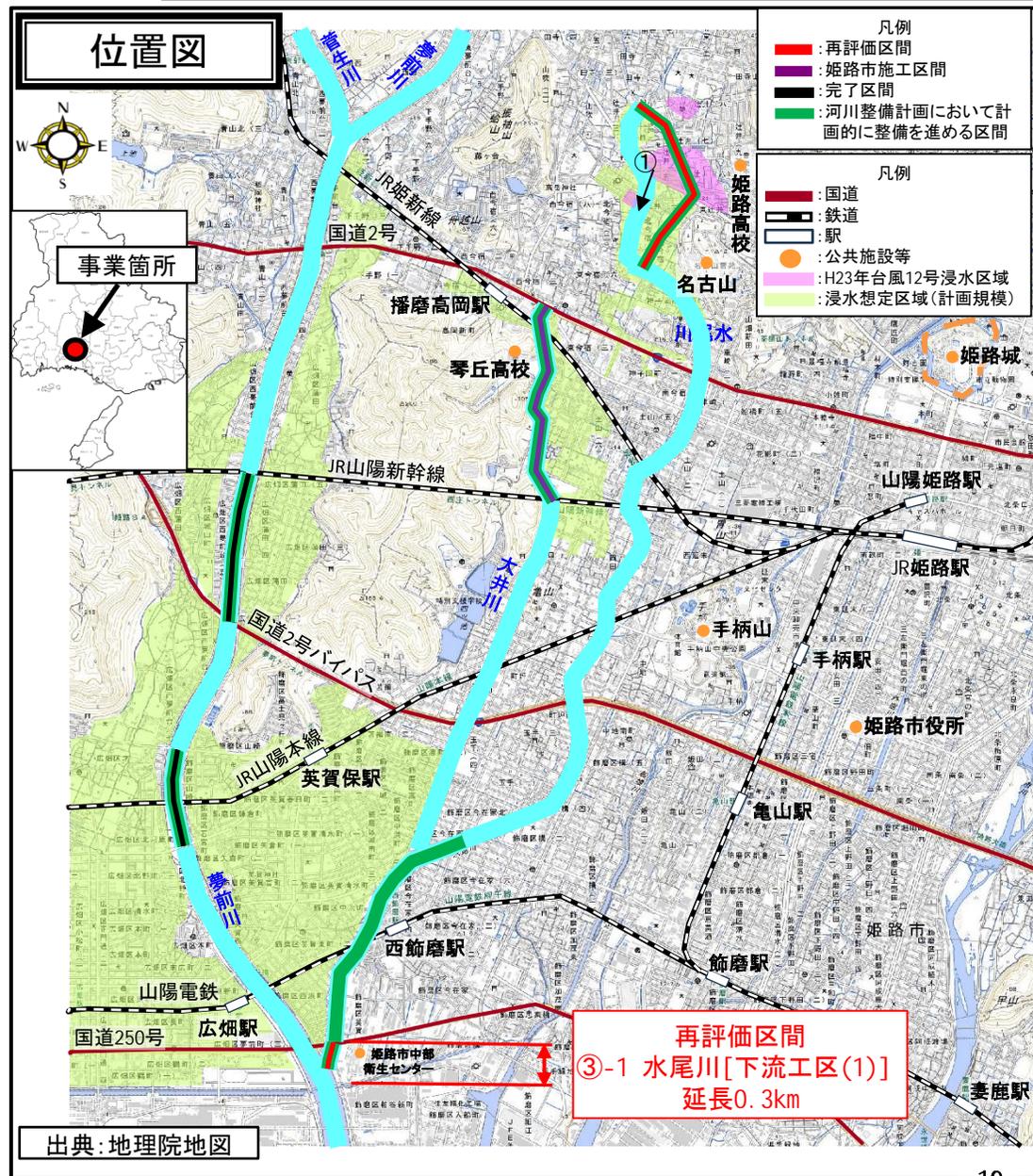
工程表

- 前回計画
- 実施・計画

種別	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
測量設計	■	■									
井堰改築(郷内井堰)		■	■	■							
井堰改築(玉田井堰)				■	■	■					
河床掘削・護岸				■	■	■	■	■	■	■	■

河川事業 二級河川夢前川水系水尾川 [下流工区(1)] (継続:再評価〔第6回〕)

位置図



目的

夢前川水系河川整備計画(H26.10)に基づき治水安全度を向上(年超過確率1/100の規模の洪水を安全に流下させる。)

事業概要

事業区間 : 夢前川合流点～国道250号
 総事業費 : 26億円
 内用地補償費 : 3億円
 事業期間 : H26(2014)年～R10(2028)年
 事業概要 : 護岸、河床掘削
 延長 : 300m
 費用便益比B/C : 5.5(河川整備計画における全ての事業による費用便益費)

浸水実績

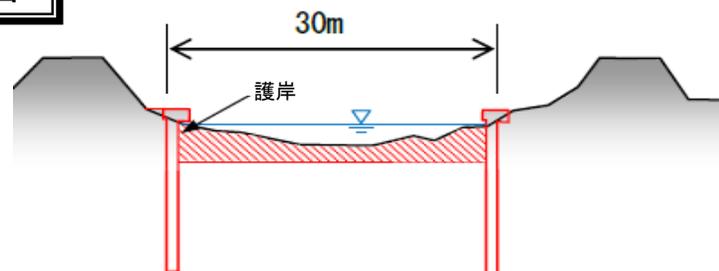
① 浸水実績(H23台風12号)



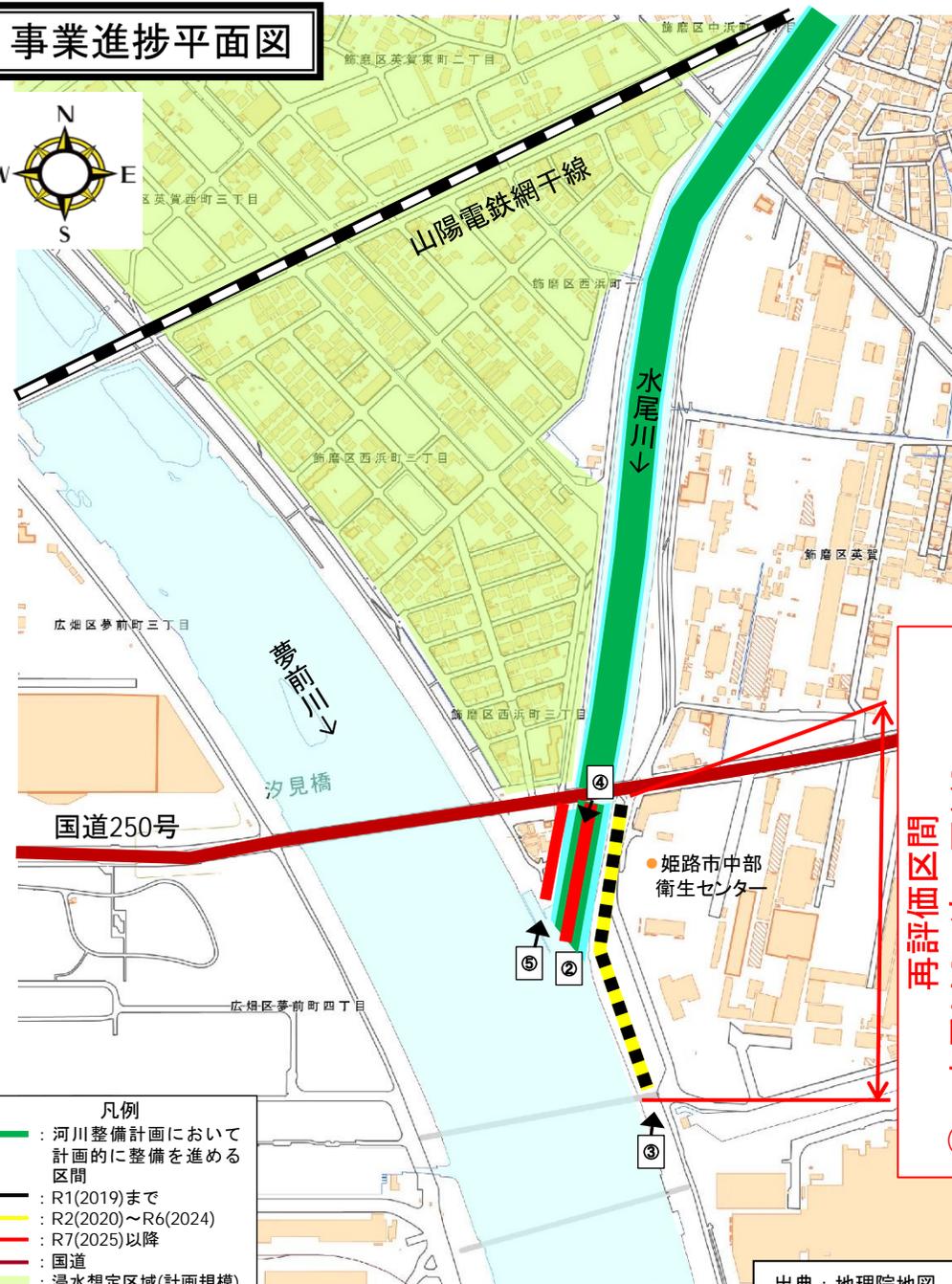
浸水実績(H16台風4号)



横断図



事業進捗平面図



再評価区間
③-1 水尾川 [下流工区(1)] L=300m

現況写真

② 築堤完成 (護岸・掘削 施工前)



③ 完成区間 (護岸・掘削 施行後)



④ 残事業区間 (右岸護岸・掘削)



⑤ 残事業区間 (右岸護岸・掘削)



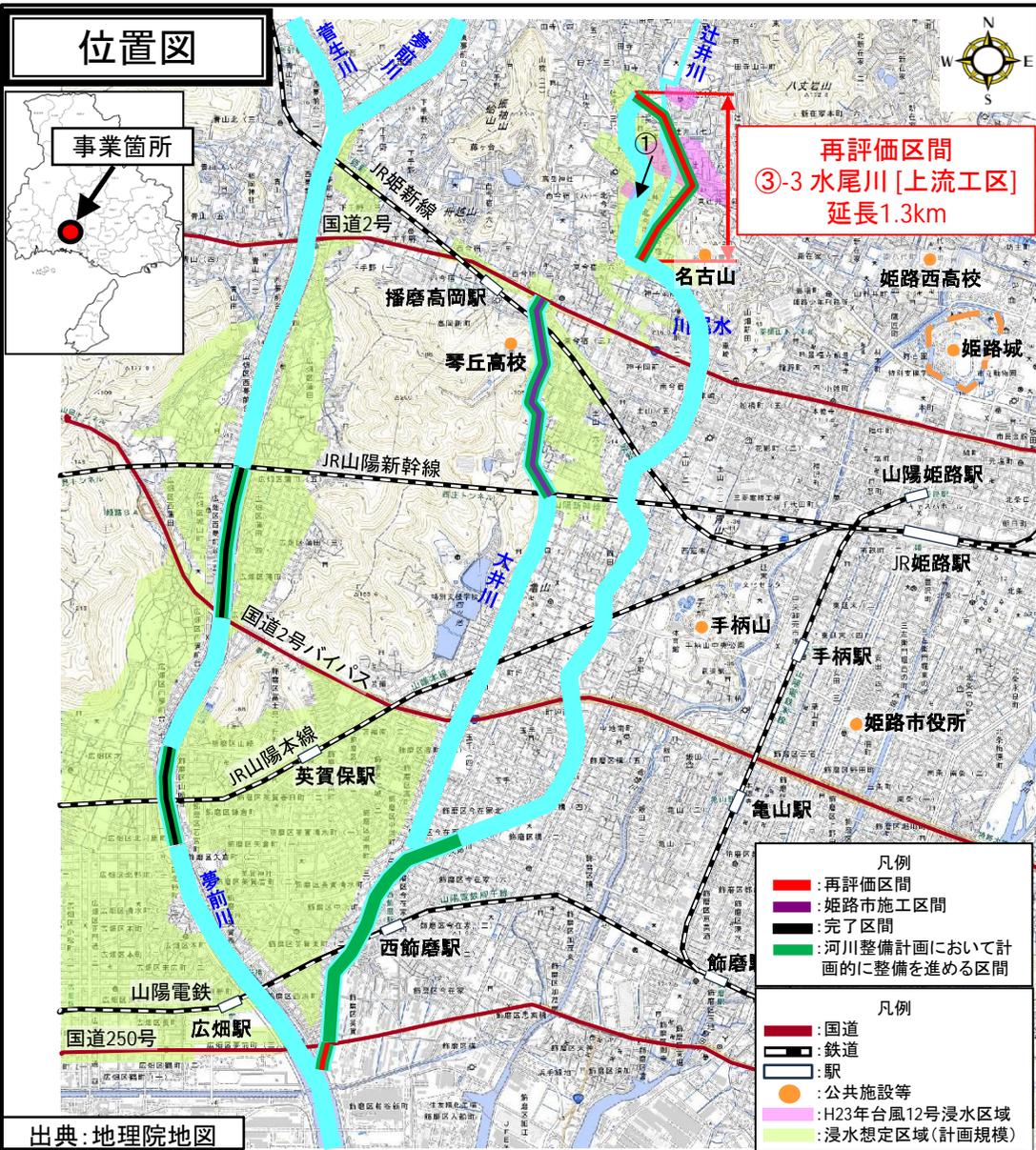
工程表

■ : 前回計画
■ : 実施・計画

種別	~R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
用地・補償	■		■							
掘削		■				■				■
築堤・護岸	■	■	■	■	■	■	■		■	■

河川事業 二級河川夢前川水系水尾川 [上流工区] (継続:再評価[第6回])

位置図



再評価区間
③-3 水尾川[上流工区]
延長1.3km

- 凡例
- : 再評価区間
 - : 姫路市施工区間
 - : 完了区間
 - : 河川整備計画において計画的に整備を進める区間
- 凡例
- : 国道
 - : 鉄道
 - : 駅
 - : 公共施設等
 - : H23年台風12号浸水区域
 - : 浸水想定区域(計画規模)

出典:地理院地図

目的

夢前川水系河川整備計画(H26.10)に基づき治水安全度を向上(下水道雨水排水計画と整合を図り、年超過確率1/20の規模の洪水を安全に流下させる。)

事業概要

事業区間 : 辻井川合流点 ~ 法河川上流端
 総事業費:110億円
 内用地補償費:1.5億円
 事業期間:令和4(2022)年 ~ 令和15(2033)年
 事業概要:地下捷水路整備 (1.4km(φ4.75m))
 延長:1.3km
 費用便益比B/C:5.5
 (河川整備計画における全ての事業による費用便益費)

計画流量:43.3m³/s
 (河川:35m³/s、下水道(姫路市)8.3m³/s)
 負担割合:河川と下水道との流量の割合を基本に設定

浸水実績

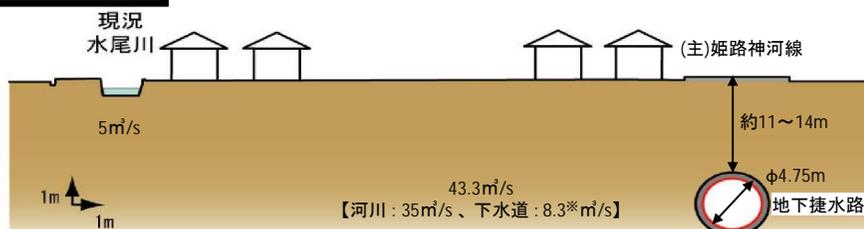
① 浸水実績(H23台風12号)



浸水実績(H16台風4号)

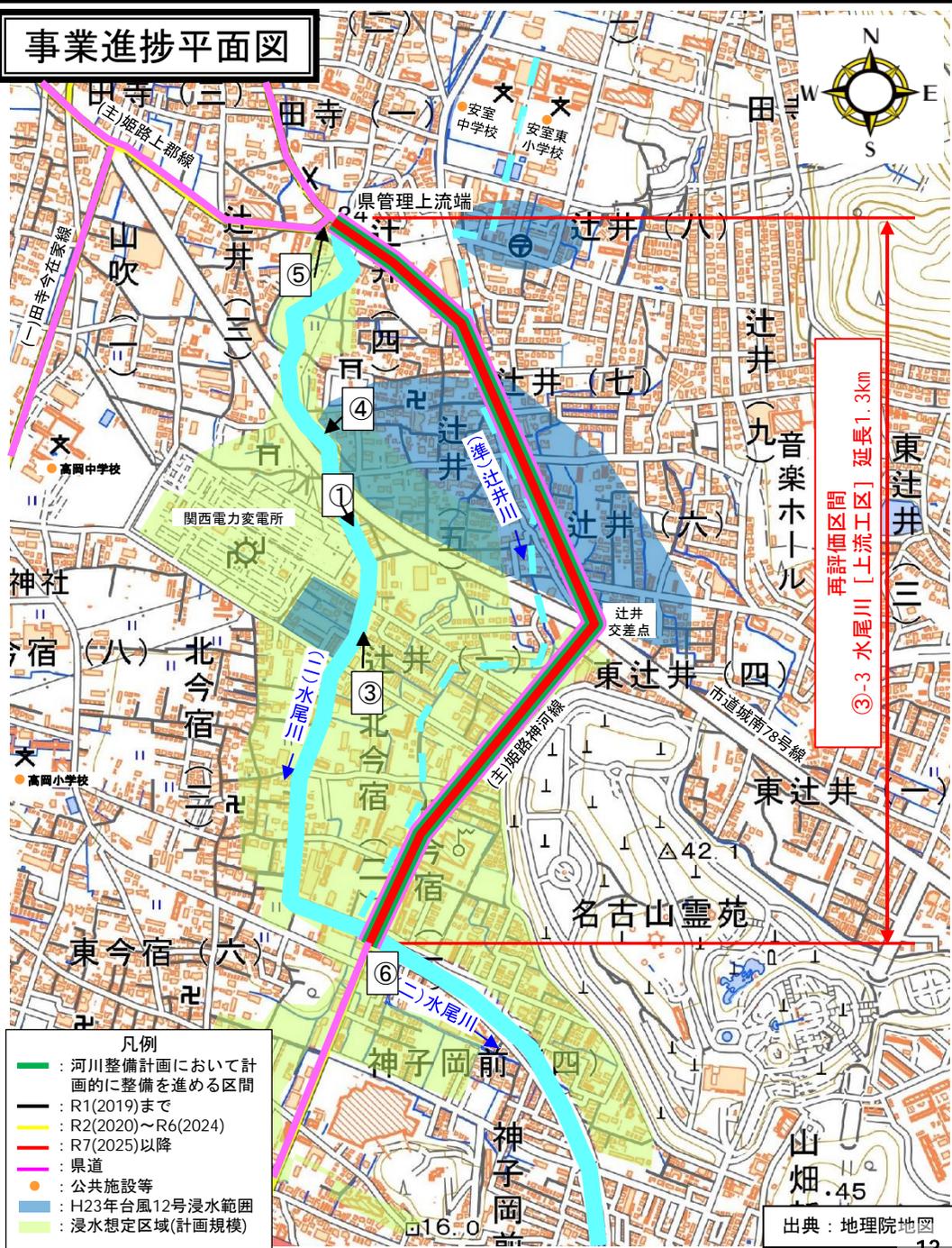


横断面図



※下水道の流量は今後の詳細検討により変更となる場合がある。

事業進捗平面図



現況写真

③ 現況水尾川(関電変電所付近)



④ 現況水尾川河道(辻井地内)



⑤ 捷水路上流端付近



⑥ 捷水路下流端付近



工程表

■ : 前回計画
■ : 実施・計画

種別	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
調査設計	■	■	■	■	■	■	■					
用地補償	■	■	■	■	■	■	■					
立坑		■	■		■					■		
シールド製作		■	■				■	■				
シールド掘削			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
機械設備 (排水・換気設備等)											■	■
関連工事 (立坑周辺整備等)											■	■

事業の有効性・効率性

(1) 費用対効果

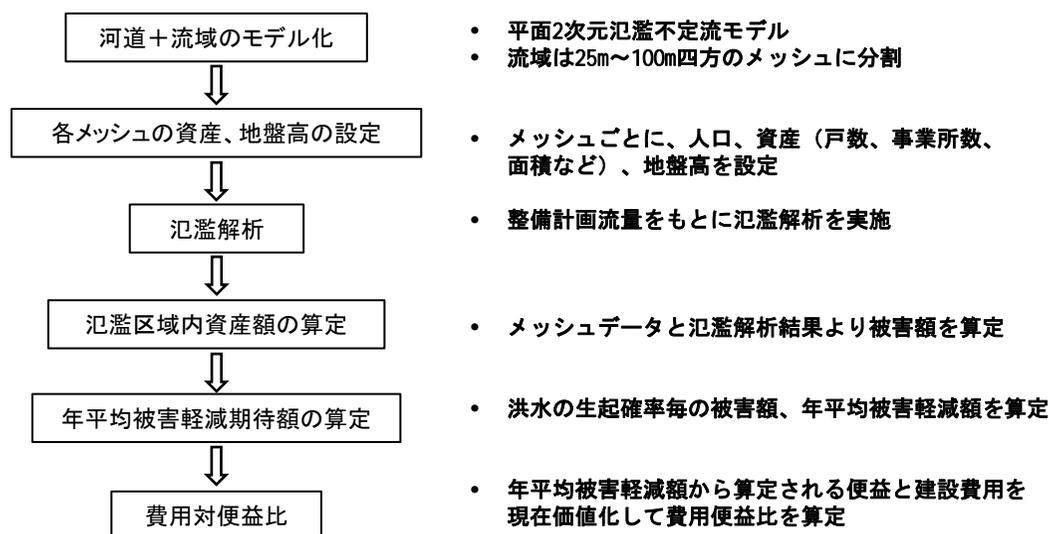
① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
治水安全度の向上	浸水被害の軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所償却資産、農業家償却資産等) ・農産物被害、公共土木施設等被害、営業停止被害、応急対策費用

1) 便益 = 「治水事業を実施することによる被害軽減期待額」を現在価値化

被害額 = 一般資産被害 + 農作物被害
 + 公共土木施設等被害
 + 営業停止被害 + 応急対策費用

2) 費用 = 「建設費 + 維持管理費」を現在価値化



② 費用便益費(B/C)算出根拠

B(便益)		C(費用)			B/C
便益額	代表的な効果	総費用	事業費	維持管理費	
250,210 (百万円)	計画規模の降雨に対して、 浸水世帯 3,695世帯の解消 浸水面積 237haの解消	45,908 (百万円)	41,978 (百万円)	3,930 (百万円)	5.5

※河川整備計画における全ての事業による費用便益比

